

安部典子展 カバーズ..表徴と穴

NORIKO AMBE EXHIBITION
COVERS : Signs and Holes

「エスペラントの綴りーLines of Esperanto」(部分)

2023. 7/5 | 水 | — 9/18 | 月祝 | 10:00 — 18:00 観覧無料

休館日 8/21 | 月 | — 24 | 木 | 、9/4 | 月 | ロゼシアター休館日に休館

特別講座 アーティストトーク 7/16 | 日 | 13:30 — 14:30 参加無料 申込不要 最新情報はHP・facebookをご参照ください。

主催 富士市 主管 一般社団法人富士芸術村

〒416-0953 静岡県富士市蓼原町 1750 番地 富士市文化会館ロゼシアター1階 (東側奥) TEL 0545-32-6581 FAX 0545-32-6582

<http://www.fuji-paperart.jp>



ふじ・紙のアートミュージアム
Fuji Paper Art Museum



「A Cover: Sign and Hole」2023

1999年より、数百～1000枚の紙を使い「線を引く／カットする行為」と題し、時間と自然と人間の関わりをテーマに制作を続けています。また、白い紙と並行して既存の本や写真など、すでにメッセージや情報が印刷されている紙メディアを媒体とし、そこにカッティングを施していきます。私自身を鏡、またはフィルターにたとえ、その意味とビジュアル的な造形要素が交差する点を探っていく行為は、必然的にコンセプチュアルに変容していきます。

我々を取り巻く避けられない環境や情報、また既存の歴史や文化、教育、もしくは個人的な記憶に揺るがされながら今を日々生きている、それもリアリティのある日常を形作っています。情報のメタファーとして本や新聞、写真などの社会というメディアと関わり、ひとつひとつどう作品として昇華させていけるのか。いうなれば、私という存在は一サンプルとしてアートと関わりを持つことの実践なのかもしれません。

今回は書籍カバーをモチーフに、実物の表紙に、または表紙のイメージを再構成し写真に焼き付けたもの、さらには表紙の文字をトレースし一冊の書物に転写し、それらを表徴として見立て、カッティングによる裂け目や穴を掘り出していきます。

富士山は世界“文化”遺産であり、“自然”遺産ではないということは、意外と知られていないのかもしれない。つまりそれは、日本という国の、最大規模の“表徴”として君臨する存在であるが故に、そのロケーションとどう対峙するかが、今回のテーマの土台となりました。

富士山を直接間接的に借景とするロケーションに、シンボリックなインスタレーションを展開してみたいと思います。

安部典子
 2023年5月



「エスペラントの綴り—Lines of Esperanto」2022—



「A study of Covers」2023



「Miles 3」2017
 Photo by MAHO KUBOTA GALLERY



「Covers 1,2」2017
 Photo by Edward Hendricks

安部典子 略歴 1967年埼玉県生まれ。1990年武蔵野美術大学油絵学科卒業。
 2004年から2019年までニューヨーク在住。現在主に埼玉県深谷市を拠点に活動。
 手作業でカットした数百～千枚の紙を重ね、立体的な地層を生み出す「カッティングプロジェクト」など、時間と自然と人間のシンクロニシティを試みる彫刻を制作。2011年 AICA—USA アワード（国際美術評論家連盟全米支部）全米コマースギャラリー部門にて第2席受賞。2013年日産アートアワードにてファイナリスト。
 近年の主な個展に「In the room — 横顔のエロシエンコ」（中村屋サロン美術館 2022年）、「DRAWING 一線たちは出会う」（川口市アートギャラリー・アトリア 2021年）、「陰と共時性」（MAHO KUBOTA GALLERY 東京 2020年）、「Satellite View」（Lora Reynolds Gallery テキサス州 2015年）、「Cutting Without an Outline」（キャストリギャラリー ニューヨーク 2013年）、「Inner Water」（シラキウス大学ギャラリー ニューヨーク州 2012年）、「キル—Artist Books Project」（フラッグアート財団 ニューヨーク 2010年）などがある。ニューヨーク近代美術館、ホイットニー美術館、うらわ美術館などに作品が収蔵されている。

2023年7月5日(水)～9月18日(月祝) 10:00～18:00 観覧無料

休館日 8月21日(月)～24日(木)、9月4日(月) ロゼシアター休館日に休館いたします。

特別講座 **アーティストトーク** 7月16日(日) 13:30～14:30 参加無料 申込不要 最新情報はHP・facebookをご参照ください。

主催 富士市 主管 一般社団法人富士芸術村

ふじ・紙のアートミュージアムは、紙を素材とした芸術作品を展示します。そして、「つなげる・つながる」をテーマに芸術文化活動をしていきます。当ミュージアムが拠点となり、富士市全体がミュージアムになることを願っています。2016年11月1日開館

- 交通 東名富士インターチェンジより約2.3km、国道1号より約2.2km、新富士駅より約2.2km、富士駅より約2.6km
 バスの場合は JR富士駅(北口バス停)から15分「ロゼシアター入口」下車 徒歩2分
 新幹線 JR新富士駅(北口バス停)から15分「ロゼシアター前」下車
 *発車駅によって到着するバス停が異なりますのでお帰りの際にご確認ください。
- 駐車場 富士市文化会館ロゼシアターの駐車場をご利用ください。
 *ロゼシアター開催の公演により混雑する場合があります。

〒416-0953 静岡県富士市蓼原町 1750 番地 富士市文化会館ロゼシアター1階 東側奥
 TEL 0545-32-6581 FAX 0545-32-6582 <http://www.fuji-paperart.jp>

